

別記様式第5号（6の2関係）〔1枚目〕

佐久市佐久っと支援金事業支援金事業 自己評価報告書

評価日	2年 3月 11日
-----	-----------

団体名	のざわ商店街振興組合		
事業名	のざわ商店街振興組合活性化事業(参拝びんころカード作成)		
対象経費	199,542 円	支援金交付 対象経費	199,542 円
支援金額	99,000 円		

事業の目的・内容	目的 <事業の目的及び達成目標> 毎月第2土曜日に山門市を開催しています。観光スポットとして定着しつつあるびんころ地蔵のありがたみを再確認し、これにより商店街への誘客を円滑にしたい。 ・具体的な達成目標 スタンプカードの実施回数（今年度内）…5回 びんころカードの延べ参加者数…250名
	内容 <事業の内容> スタンプカードでびんころ参拝回数に応じて、色紙のマーク色を変え（金・銀・銅）として贈呈します。 ・実施時期…（11月以降）毎月第二土曜、のざわ山門市開催時 ・台紙および色紙の配布場所…魚甲商店・山門茶寮 ・マーク色の種別 金…参拝回数 100回 銀…参拝回数 50回 銅…参拝回数 10回 残りは、のざわ商店街振興組合で保管する。

事業の活動実績	・びんころ地蔵参拝者のリピーター増加につながりました。 11月初回はカードの取り扱いの説明をしましたが、なかなかすぐには、利用者はいませんでした。2回・3回としつこく説明をし、地元の方は、毎日お参りをする方もいて、色紙を頂ける事を楽しみにしていますとの声も上がりました。県外のお客様はそんなには来れないとの声もありましたが、色紙に惹かれて、今後参拝客がふえると思います。 色紙 金 1枚 銀 18枚 銅 37枚 と現在出ています。今後年間を通してスタンプカードを続けていきます。3月の山門市はコロナウイルスのため中止しました。



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプカードの取り組みを実施することにより、構成員の活動への参加意欲を高め、連携をさらに強化していく。また商店街のエリヤを活用した「健康ウォーキング」の案内や月1回の山門市では、役員・婦人部・汁物当番等ボランティア活動で参加してよりいっそうぴんころ地蔵をアピールしていく、それに伴い商店街への誘客につながるようを意識した。 ・ぴんころ地蔵参拝者のリピーター増加に伴い、以下の効果ができた。 <p>①のざわ商店街への来訪者数が増加 ②野沢地区からの発信により、市民に佐久市の「健康長寿」が更に浸透する。 →市民の郷土愛の醸成 ③市外における「佐久市の健康長寿ブランド」の価値が向上する。 →移住先としての佐久市の魅力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の対象者：ぴんころ地蔵参拝者やのざわ山門市訪問者 ・参加予定人数：250名（11月から3月までの参加人数の目標）でしたが2月コロナウイルスのため3月の山門市訪問者は0のため予定人数までには足せませんでした。約200名

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>自己評価を記入</p> <p>チラシ広告の成果で多数の人が参拝にきました。3月の山門市はコロナウイルスの為中止としました。</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p> <p>自己評価を記入</p> <p>初回は少し内容が把握できない人がいましたが、月ごとに徐々に参拝し色紙を頂ける事を楽しみに参拝客が増えました。</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p> <p>スタンプの回数により、金・銀・銅と分けたので自然と銅から銀と、ほしくなりそれに伴って参拝客が増加した。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	常備参拝のお客様に回数によって色紙を頂けることを宣伝し、野沢商店街への来訪者が増加し、ぴんころ地蔵から商店街へ買い物等と購買行動が広がることで、地域の商店等全体で品揃えやサービス等が向上し、さらに誘客に繋がるサイクルを実現すること。
---------	--